秋田高専産学協力会 第60回研修会

講演概要と講師紹介

講演題目

「溶融ゴミのリサイクルと泥炭の新しい活用」

【講演概要】

現在、一般家庭ごみや事業所のゴミ(126,000t/年)を高温で溶融して排出されるスラグは、コンクリートの二次製品やアスファルト舗装などの骨材に利用されている程度で、その規模も小さい。そこでスラグをそのまま材料として使用するのではなく、これに付加価値を付け、リサイクル材料の資源として数種類の新たな材料を創出した。また県内に大量に堆積している泥炭は、超軟弱なため再利用されることは全くなく、建設廃棄物として扱われている。そこでこの泥炭の新しい活用法として、種々多様なニーズに応えることができる食品用の燻製材を見出した。

【講師紹介】

秋田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 対馬 雅己 氏

1973年(昭和48年)3月 秋田大学鉱山学部土木工学科 工学博士

○専門分野 . . . 地盤工学

○現在の研究テーマ . . . ①ゴミ溶融スラグのリサイクルと地域の未利用天然資源の有効活用

②軟弱地盤の沈下・側方流動に関する研究

③地震時を想定した軟弱土の変形解析

④斜面の安定問題に関する研究

○技術相談キーワード . . . ①地盤の安定処理と改良

②地盤の沈下・変形

③地すべり

④地盤の液状化